

平成17年7月28日
筑波大学

平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」について

「特色GP」とは

- 「特色GP」とは、「特色ある大学教育支援プログラム」の愛称です。GPは“Good Practice”のことで「優れた取組」という意味で広く使われています。特色GPは、全国の大学・短期大学の様々な教育プログラムの中から、特色ある優れた取組“Good Practice”を選定し、広く社会に情報提供することにより、他の大学・短期大学がそれらを参考に自らの教育の改善・改革を推進していくことで、我が国の高等教育全体の活性化を図ることを目的とする文部科学省の事業です。平成15年度から始まりました。
- 審査は有識者等により構成される「特色ある大学教育支援プログラム実施委員会」により厳正に行われ、選定された取組はホームページや事例集等で情報公開されます。
- 申請できる件数は、大学・短期大学とも一校1件です。
選定件数は、申請件数の1割程度以内とされています。
- 平成17年度「特色GP」全申請件数410，採択数47
(うちテーマ例2は、申請数129，採択数15)
- 選定大学の一覧・申請・審査方法などについての詳細は、財団法人大学基準協会のホームページで見られます。

平成17年度「特色GP」に選定された取組

- 取組名称：アート・デザイン教育による3C力の育成
ー大学を開き地域を活かすプロセス参加型実践教育プログラムー
申請担当者：芸術専門学群長 西川 潔
応募テーマ：主として教育課程の工夫改善に関するテーマ（テーマ例2）
- 平成15年度の「先進的な医学教育を推進する支援システム」（医学専門学群）に次いで2度目の選定。
 - 「特色GP」に選定されると、各年1,550万円を上限に4年間、大学改革推進等補助金の交付が受けられ、この取組をさらに充実・発展させることができます。

問合せ先：人間総合科学研究科（芸術）
貝島桃代講師
電話 029-853-2709